



①発信する ②追究する ③粘り強く ④つながる ⑤思いや願いを実現しようとする ⑥課題解決する

心動く体験が人を育てる

校長 坂本 陽子

朝の情報番組から聞こえてくる「マンマミーア！」という元気な声。どんな意味なのか調べてみると、「あらまあ！」「なんてこと！」「すばらしい！」のように驚き、感動、喜びなどポジティブな感情表現として使われるようです。オリンピックを見ていて感動する場面はたくさんあります。そして、インタビューやエピソードを通して選手たちの歩んできた道のりや思いに触れた時、さらに心が揺さぶられます。

子どもたちの学校生活にも、同じように心が動く瞬間があります。本や机上の学習だけでは得られない学びが、人との出会いや体験することの中から生まれています。今年度も、運動会や学びの報告会（授業参観）、スポーツ交流会、音楽会、合同学習発表会など、学校内外の行事を通して、子どもたちは多くの経験を積み、大きく成長してきました。また、夏祭り、やきいも・竹細工体験、ドッジボール大会、地域防災拠点事業など、地域の皆様と関わった活動では、地域の皆様が子どもたちのことを考え楽しく安心して参加できるようにしてくださいました。保育園・幼稚園、地区センター、資源循環局といった公共施設との交流、また、農家・商店・芸術家など専門分野の皆様から学ぶ本物の体験は、子どもたちの世界を大きく広げる貴重な機会となりました。

こうした出会いや経験を確かな力として積み重ねていくために、授業の節目には必ずふり返りの時間を設けています。子どもたちのふり返りからは、「できた」「楽しかった」だけでなく、「もっとこうしたい」「さらによくしたい」という前向きな言葉が聞こえるようになりました。気付いたこと、心が動いたこと、もっと知りたいこと、次に挑戦したいことなど課題ができることで、学びは深まり、次への意欲が生まれていきます。多くの人との出会いや経験から生まれた感動が、子どもたちの学びを深め、心を揺さぶる力となってきました。

6年生は、3月6日（金）に卒業遠足で鎌倉方面へ行く準備をしています。鎌倉駅までのルートを行動班でバスや電車を乗り継いで行くことや公共施設の使い方や集団行動の約束について話し合っています。また一歩卒業に近づいたことを実感します。5年生は、最高学年プロジェクトを進めています。一人ひとりがどんな6年生になりたいか、そのために必要な準備は何かを学年全体で取り組んでいます。このように1～4年生、5組も進級に向けてまとめの時期を過ごしています。

この1年間、学校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様、そして学校に関わってくださったすべての方々には心より感謝申し上げます。日々の声かけ、行事への参加と協力、地域での見守り、本物の学びの提供など、皆様の支えがあったからこそ、子どもたちは多くの出会いを通して心を動かし、「マンマミーア！」と感じる瞬間をたくさん重ねることができました。これからも、学校・地域・家庭が力を合わせ、子どもたちの未来をともに支え、さらなる成長につなげていきたいと思っております。